

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月13日(木)

事務事業		救急活動推進事業		担当課	警防課	担当係	救急管理係	管理番号	52221
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	救急救命士法				
	小項目	2	消防・救急体制の充実						
	主要プロジェクト								
事業概要		救命率向上のため、救急救命士及び救急隊員に病院実習及び研修等を実施することで、資質能力の向上を図るものである。							
目的 ※何のために		質の高い救急医療サービスを市民へ提供するため。							
対象 ※誰・何を対象に		現任の救急救命士及び救急隊員。							
手段 ※どのように		病院実習、救急研修及び教育訓練を実施。							
成果 ※何を求めるか		救急救命士を含む救急隊員の資質向上を図る。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業	区分		款		項		目	細事業名	前年度決算額 (円)
	一般会計	9	消防費	1	消防費	1	常備消防費	救急活動推進事業	2,903,014
本事業の 主な業務	・指導救命士養成研修							・埼玉県北部地域メディカルコントロール協議会員担金の支出	
	・救急救命士再教育病院実習							・救急救命士ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管病院実習	
	・救急救命士気管挿管病院実習							・	
	・救急救命士薬剤投与病院実習							・	
	・救急救命士就業前病院実習							・	
	・特別管理産業廃棄物収集運搬及び処理委託							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・自動式心マッサージ器	・気管挿管病院実習 ・薬剤投与病院実習 ビデオ喉頭鏡病院実習 ・派遣型救急ワークステーション	・気管挿管病院実習 ・薬剤投与病院実習 ビデオ喉頭鏡病院実習 ・派遣型救急ワークステーション			
事業費	予算（現額）	27,049,000	3,306,000	3,684,000	3,775,000		
	決算額	26,537,063	2,903,014	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	4,000	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	591,000	2,053,270	1,344,000	966,000	
		一般財源	1,812,063	845,744	2,340,000	2,809,000	
人件費	従事職員数（人）	1.25	1.20	1.20	1.20		
	人件費相当試算※	9,836,947.00	9,612,198.00	10,033,080.00	10,033,080.00		
総事業費試算		36,374,010	12,515,212	13,717,080	13,808,080		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	薬剤投与病院実習数	目標値	回	3.00	2.00	2.00				
		実績値		1.00	2.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			薬剤投与の座学終了者数により目標値を設定/病院実習数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	気管挿管病院実習数	目標値	回	2.00	2.00	2.00				
		実績値		2.00	2.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			救急救命士の各認定・登録状況により目標値を設定 / 病院実習数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	薬剤投与認定救命士数	目標値	人	71.00	71.00	71.00				
		実績値		69.00	71.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			救急救命士の各認定・登録状況により目標値を設定 / 資格取得者数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	気管挿管認定救命士数	目標値	人	25.00	27.00	27.00				
		実績値		25.00	27.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			救急救命士の各認定・登録状況により目標値を設定 / 資格取得者数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	救急医療情報システムアクセス用情報機器端末使用率	目標値	%	100.00	100.00	100.00				
		実績値		100.00	100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全ての救急活動に有効に使用できるよう目標値を設定 / 使用回数/救急出動件数						
	実績値の算出式									
成果指標 4	救急隊員1人あたりにかかる費用	目標値	千円							
		実績値		491.00	601.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			社会的背景も影響するため、目標値は設定できない。 / 総事業費/救急隊員						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	救急救命士が現場活動で特定行為を行うには、病院での実習を修了する必要がある。救急救命士が病院での実習が問題なく終了し、計画通り充実が図れた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	各種救急救命処置の資格要件を満たした救急救命士が、救急現場において適切な救急救命処置を実施している。
			評価者 課長補佐兼救急管理係長 高野 武己

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	自動式心マッサージ器を活用した救急シミュレーション動画を各救急隊に渡し、自動式心マッサージ器を使用するような想定で救急活動審査会を行った。各救急隊に積極的に自動式心マッサージ器を現場で活用できるよう共有した。
			評価者 課長補佐兼救急管理係長 高野 武己

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	派遣型救急ワークステーションが本格運用し、同乗した医師が現場で処置するために、必要な補助技術や医療器材の取り扱いの研修をしていく。 自動式心マッサージ器装着例も多くなり、各救急隊が工夫している装着方法をシミュレーションで周知して、現場滞在の短縮につながるようにしていく必要がある。
達成状況及び その効果	派遣型救急ワークステーションが開始され、運用方法に関して改善できるよう病院との意見交換を行い、キーワード方式や救急隊の要請での出場が可能となり、派遣型救急ワークステーションからの救急出場範囲が広がり、早期に医療の介入ができるようになった。 自動式心マッサージ器の使用率を上昇させるため、動画での周知や救急活動審査会にて自動式心マッサージ器を活用するきっかけを作るようにした。


6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救急活動推進事業	担当課	警防課	担当係	救急管理係	管理番号	52221
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		派遣型救急ワークステーションが今後継続していくなかで、キーワード方式や救急隊の要請での出場が可能になったことで、救急隊からの情報収集や意見を取り入れるなどして、研修について見直すことも必要である。 自動式心マッサージ器の使用率について、救急活動審査会で使用のきっかけをつくるように促したが、その効果について随時検証していくことが必要である。 今後救急出場経験の浅い消防士長が救急隊長になった場合に、不安がなくなるような研修や訓練が必要である。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼警防課長 小暮 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	派遣型救急ワークステーションを実施する中で、改善すべき点を洗い出しより良い研修につなげていくように病院と意見交換を継続していく。 救急出場経験の浅い消防士長が救急隊長になった場合に、緊急度・重症度が高い救急現場でも慌てることなく冷静、沈着、的確に指示を出し、隊が円滑に活動できるよう研修等を実施していく。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	近年、ICT化が進みペーパーレス社会となっていく中で、救急事務においてもICT化を進めていく必要があり、現在、紙での決裁である救急活動記録票などの電子決裁化について調査していく。

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	薬剤投与病院実習数
			
区分	成果指標 1	指標名	薬剤投与認定救命士数
